

みずほCustomer Desk Report 2022/12/13号(As of 2022/12/12)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	136.85 AUD/USD
TKY 9:00AM	136.76	1.0521	143.92	1.2239	0.6778
SYD-NY High	137.85	1.0580	145.10	1.2299	0.6800
SYD-NY Low	136.57	1.0507	143.75	1.2207	0.6729
NY 5:00 PM	137.65	1.0539	145.04	1.2274	0.6747

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,005.04	528.58	日本2年債	▲0.0100%	0.0000%
NASDAQ	11,143.74	139.12	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,990.56	56.18	米国2年債	4.3796%	0.0395%
日経平均	27,842.33	▲ 58.68	米国5年債	3.7903%	0.0199%
TOPIX	1,957.33	▲ 4.23	米国10年債	3.6150%	0.0302%
シカゴ日経先物	28,025.00	250.00	独10年債	1.9330%	0.0135%
ロンドンFT	7,445.97	▲ 30.66	英10年債	3.1945%	0.0155%
DAX	14,306.63	▲ 64.09	豪10年債	3.3690%	0.0670%
ハンセン指数	19,463.63	▲ 437.24	USDJPY 1M Vol	12.37%	▲0.02%
上海総合	3,179.04	▲ 27.91	USDJPY 3M Vol	11.70%	▲0.08%
NY金	1,792.30	▲ 18.40	USDJPY 6M Vol	11.10%	▲0.23%
WTI	73.17	2.15	USDJPY 1M 25RR	▲1.00%	Yen Call Over
CRB指数	269.37	3.09	EURJPY 3M Vol	10.76%	0.02%
ドルインデックス	105.13	0.32	EURJPY 6M Vol	10.70%	▲0.17%

東京	東京時間のドル円は136.76レベルでオープン。仲値にかけて一時137円台を回復も、その後は週内に米CPIや各国中銀会合など重要イベントを控え、手控えムードに。136円台後半を中心に一進一退となり、137.02レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、137.02レベルでオープン。ドル安ムードで一時136.63まで売られるが、クロス円につられ円安も進行。結局買い戻されると、ほぼ変わらずの137.08レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円はNY時間13日の米11月CPI、14日のFOMC等の注目イベントを控え、様子見ムードが広まっており、一時137円台を回復する場面もあったが、136円台後半でのレンジ推移が継続。早朝は米長期金利の下げ渋りを受けて買いが強まり、137.08レベルでNYオープン。オープン後は早朝の流れを引き継ぎ137.20近辺まで上昇するが、その後買いが一巡し、136.92まで反落。しかし、米金利が上昇するとドル円も再び買い優勢となり、ロンドンフィクシングにかけてドル買いが加速し、137.50付近まで上昇。午後は米10年債入札結果が不調だったことから長期利回りが上昇し3.6%台に乗せる中、ドル円も137.85まで続伸。終盤は小幅反落し、結局、137.65レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.05半ばでスタート。アジア時間で1.05前半まで売られるも、欧州時間では欧米金利差縮小の動きを受けてユーロが買い戻され、1.0574まで上昇後、1.0556レベルでNYオープン。朝方は1.05半ばでもみ合い、高値を1.0580まで更新する場面もあったが、その後は米金利上昇でドルが買われ1.05前半まで反落。午後は1.0512まで下押しするが、米CPIやFOMCのイベント前で方向感が出にくく、結局、小幅反発し、1.0539レベルでクローズ。

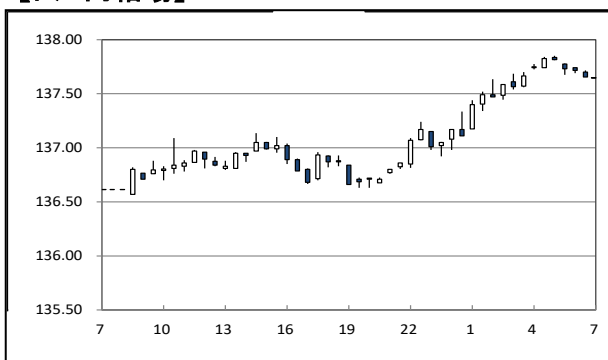
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月12日	16:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 0%/-2.4%	0%/-2.5%
	16:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	10月 0.7%/-4.6%	-0.1%/-5.4%

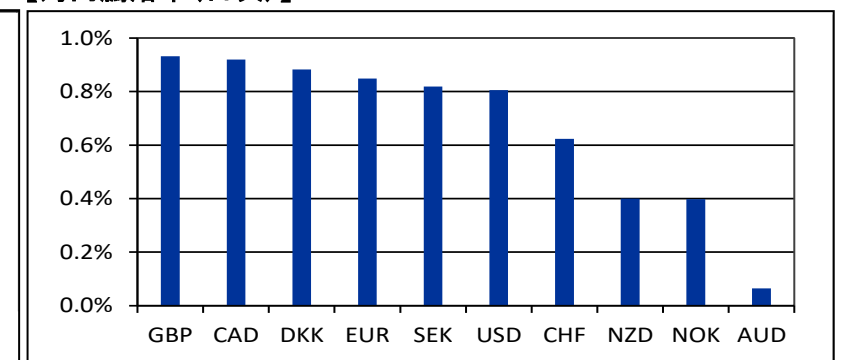
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月13日	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	11月 -0.5%/10%	-0.5%/10%
	16:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	10月 5.9%	5.7%
	19:00	独 ZEW調査(期待/現状)	12月 -26.4/-57	-36.7/-64.5
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	11月 0.3%/7.3%	0.4%/7.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.50-138.50	1.0450-1.0580	144.50-145.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は海外時間に小幅上昇。東京時間のドル円は136.76レベルでオープン後、仲値にかけて137円台を回復も、その後は週内に重要イベントを控え様子見ムードが強まり、136円台後半でのレンジ推移。海外時間に入るとじり高の展開。米国10年債入札が低調な結果となり、米長期金利が上昇したこともサポートとなり、137.85まで上昇後、137.65レベルでクローズした。本日のドル円は小幅上昇する展開を想定。本日注目される米CPIはコアが前年比+6.1%(前回+6.3%)と前月からの鈍化が予想される一方、先週末の米PPIが市場予想を上回ったことでCPIも上振れ方向への警戒が強まる。11月にかけてFRBの利上げペース鈍化の市場織り込みが進み、米債、ドル円も大きく調整が進んでおり、反発余地が大きい。CPIが強い結果となった場合、米金利の上昇とともにドル円はアップサイドに反応しやすいと予想。注目度が高いイベントだけに、上下双方向への乱高下には警戒したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松永・大橋